

### 【出題の基本方針】(全日程共通)

- 1 深い理解がないと正解には至れないような問題を盛り込み、数学への理解力を測れるようにしている。
- 2 すべての問題を記述式とし、計算過程などを記述させることで、思考力を測れるようにしている。
- 3 複数の項目にわたる問題を含み、計算力はもとより、応用力なども測れるようにしている。

### 【各設問の方針と内容】

#### (一般選抜Ⅰ期)

問	出題意図	配点
1	根号の入った式を有理化したうえで、無理数の値から、小さな差しかない値の大小を判断できるかを問う。	14
2	素数の存在可能性に考察する基礎的な思考力を問う。	14
3	2 時不等式の解法と、集合の考え方への理解を問う。	14
4	絶対値記号、場合分けによる関数の違いに関する理解を問う。	16
5	2 次方程式の解の個数についての理解を問う。また、方程式に含まれる係数が、与えられた条件を満たすための関係を問う。	16
6	比率や内接・外接の概念を理解したうえでの求積への理解を問う。	14
7	三角関数を理解したうえでの求積への理解を問う。	12

#### (一般選抜Ⅱ期)

問	出題意図	配点
1	複雑な式を因数分解できるかを問う。	14
2	整数の性質について、式で表して証明できるかを問う。	14
3	解と係数の関係の理解と式の変形などを伴う計算力を問う。	14
4	方程式が表す平面上の直線や図形への理解を問う。	16
5	2 次関数の最大値や最小値について場合分けして考えられるかを問う。	14
6	比率や内接の概念を理解したうえでの求積への理解を問う。	14
7	統計の代表値に関する理解及び論理的な思考力を問う。	14